

6月定例会報告

6月11日(土) 午後1時30分～5時

会場：立川・NHK 会議室 出席者10名

夏を思わせる暑さの中、6月の例会が開催されました。黒田さんと(株)アース・オンの塩原さんの2名のアドバイザーから会員の発表作品についてアドバイスを頂きました。会員の参加者は8名になりました。司会は飯山会計幹事が務めました。

1.自主作品の発表と講評

中村能己さん 「はじめての個展」 9分53秒



自閉症の林航平君が行った、初めての個展です。

評：場面チェンジで黒コマが多すぎる。主役の航

平君を多めにし、ギャラリーのオーナーの出演を少なく。ピントが手前の物に合う傾向がある、プロはオートを使用しない。時間経過で編集するのではなく、シーンを入れ替える手もある。

渡辺 實さん 「上野東照宮ボタン苑」 5分45秒



初めて上野東照宮のボタン苑を訪ねました。5月の上旬でボタンとシャクヤクの競演を2時間ほど

撮影しました。ボタンは初めてで、強い印象が残りました。評：三脚不可で手持ちで花に近づいてアップを良く撮った。苑への入りとラストの出る所で自分のこだわりを示して良かった。気迫のようなものが感じられ、ナレーションも良かった。

荒木 勉さん 「伏木曳山祭」 5分13秒 (HD)



富山県高岡市伏木地区で古くから行われる祭りです。6台の山車が、昼は飾り山、夜は提灯山にな

って街に繰り出します。評：場所取りもいいし、しっかり撮れていた。自然の流れで撮影していたので、

つながりもよかった。一部、掛け声のつながりが不自然な部分もあった。地図などで場所を説明したほうが良いとの意見があった。

黒澤 真さん「台湾めぐり 前編」 7分30秒 (HD)



台湾を5日間で西側から時計の反対周りで一周します。台北到着後台中、嘉義(かぎ)、台南、高雄、

台東、花蓮の各都市です。台東では鄭成功(和名・和藤内)の紅毛城を見学しました。評：ナレーションは良かったがBGMが少し高い。渡航経験の無い視聴者に地図を示して良く分かる様に工夫がしてある。羽田の出発映像はあるが台北到着の画像も欲しい。お寺の屋根の装飾品の人形のもっと大きなアップが欲しかった。

飯山一伸さん「水上ジェットスキーショー」 5分26秒

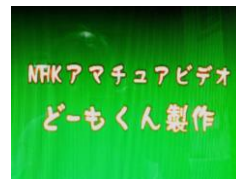


オーストラリア・ゴールドコーストのジェットスキーの迫力あるショーを

撮影しました。早い動きを捉えるのに苦労しました。

評：時系列的な編集ではなく、各カットをバラし、アップを中心にもっと全体のノリを良くする。会場紹介と観客席と見物人の顔を入れる。演技者紹介のカットは一つにまとめた方がよい。英語のアナウンスに和訳テロップを入れる。タイトルを見直し、もっと工夫する余地がある。

岩沢 初男さん「NHKのどーもくん」 10分20秒



約20年前にNHKの“みんなのビデオ”にどーもくんが放送

されました。そこで私はペットボトルでどーもくんを作り、みんなのビデオの物語を撮影してみました。評：久しぶりに岩沢ワールドの独特な世界観を拝見した。4:3でも面白いものは面白い。今後もこの路線でどんどんやって貰いたい。

古谷 毅さん 「新緑の井の頭公園」 7分24秒



井の頭文化園のスターだった象のはな子が67歳の国内最長寿で死亡し、その2週間前に撮った貴重な映像です。久しぶりに訪れた新緑の美しい井の頭公園なども併せてご覧ください。評：はな子の映像をトップに出した方が良いでしょう。全体的にカット数が多くスライドショーになっている。もっと内容を分けて、彫刻館、井の頭公園など別な作品にした方が良いでしょう。

浜中賢太郎さん 「ぐい呑み陶房見聞記」 10分0秒



私の友達で定年退職後に趣味で始めて9年の歳月が流れました。1時間有余の映像を10分にまとめたものです。評：焼き物の作者の人物紹介が乏しいので最初に要点を分らせる必要あり。構図や撮り方はしっかりしているが、話の展開が無いので、ちょっと飽きる。焼くところも見たい。BGが邪魔でもっと落とすこと。BGを外してコメントのみとするのも良い。

2.立川名画座通り映画祭のお知らせ



作品発表後に会員の中村さんから9月18日開催予定の“立川名画座通り映画祭”について、紹介ビデオ上映と説明がありました。

■応募作品について

A部門：自主制作映画、テーマ、ジャンルは自由

B部門：諏訪通り商店街をテーマにした映画

いずれも時間は10分以内

■応募締切 2016年8月31(月)必着

3.NHKスクープBOXのお知らせ

総会の時にも説明がありましたが、事件や事故だけではなく、ホットな話題性のあるものも対象になります。“ゾウのはな子”のように、過去の映像が貴重になることもありますので、お心掛け下さい。

<http://scoopbox.nhk.or.jp/>

みんなの広場



ガラパゴス人間

古谷 毅

世の中の進化は早い速度で進んでいる。この進化に付いていけない人はガラパゴス人間、略してガラ系人間と呼ばれている。特にパソコンの世界は著しい。私はその一人である。高齢に伴い眼が悪くなったため、パソコンの使用を極力控えるようになり編集ソフトも更新しなかった。その為今でもテープ式の古いビデオカメラで撮影している。

しかし私は昔、世界各地を旅行したビデオや、山のクラブの記録ビデオは全部で25巻400本にも達し、それを時々再生しては楽しんでる。これもひとつのビデオ人生である。

8月 例会のお知らせ

8月13日(土)午後1時30分～5時

夏・真っ盛り、暑くてじっとしていても汗。

どうせなら動いて汗をかきましょう！自分のためにも！

無理せず。楽しめず。

(編集後記)

毎年のことですが、梅雨に入って雨が続くと撮影どころか、出かける機会も少なくなります。しかし、今まで撮りためたものを整理する時間ができるので、そういう時間を活用するのもいいかもしれません。

(荒木 勉 記)